



社会福祉法人
サンフレンズ 地域福祉推進室広報紙

〒167-0023 東京都杉並区上井草 3-33-10

☎ 03-3394-9833 Fax 03-3394-9834

メール hozumi-kaneko@3friends.or.jp

ホームページ http://www.3friends.or.jp/

2014(平成26)年1月25日発行 第9号(毎月25日発行)



永福すみれ組
上井草つくし会

ときめき

デビュー

上井草つくし会 + ハーモニカクラブ
2013.12.24

12月に『永福ふれあいの家すみれ組』『上井草ふれあいの家つくし会』の2組がコンサート・デビュー。
 (『上井草ふれあいの家つくし会』はハーモニカ・クラブの皆さんとの競演) 会場の皆さんから大きな声援をいただき、楽しいコンサートになりました。さあ、これからも頑張るぞ～!

今年もいい夢をたくさん見ましょ



金子 穂純

サンフレンズ
地域福祉推進室長

あけましておめでとうございます。
 永福すみれ組の皆さん、上井草つくし会の皆さん、コンサート・デビューおめでとうございます。ひたすら練習して、上手に弾けるようになったとしても、ただそれだけのこと。上手に弾けるようになることよりも、一緒に演奏する人や、それを聴いてくれる人がいることが大事なんです。音楽は人と共有されてこそ活かされるもの。あなたが大正琴で弾いたメロディーに合わせて会場の皆さんが歌ったり、楽しかった頃のことを思い出したり、素晴らしいことだと思いませんか？
 ひとつのクラブを立ち上げるだけでも、練習場所と時間を確保すること、楽器を揃えること、練習曲を用意すること、練習を指導すること、コンサートの準備をすること等々、その陰にはスタッフの皆さんの尽力がありました。この日、スポットが当たったのは出演者でしたが、いただいた拍手は影に隠れて頑張り、一緒に夢を叶えた職員やボランティアの皆さんにもお届けしたいと思います。
 今年もいい夢をたくさん見ましょ。夢を叶えるためには、実現に向けてあれこれしなきゃいけないけれど、そんなことよりずっと前に、まず夢見ないと、そしてそれを人と語らないと。すべてはそこから始まります。ぜひ一緒に夢を見ましょ!

実習受入態勢整備プロジェクトからの報告

①介護等体験受入態勢整備プロジェクト（7月31日、11月15日に実施）

今年度の受け入れをほぼ終えたところで、各所からの報告や学生に対して実施したアンケート結果をもとに、受入態勢の改善について検討しました。

各所からの感想「**教員を目指す割には、コミュニケーションが苦手な学生が意外に多い**」は、法人内の受入事業所に限らず、一般的な傾向のようです。逆に考えれば、この体験こそがコミュニケーション技術を身につけるきっかけなのと言えます。そのためには、学生に対して適切なコミュニケーション体験指導ができるような受入態勢を考えていく必要を感じました。松ノ木ふれあいの家で作成した対人援助技術学習プログラムなど秀逸なものは、ぜひ法人内で共有され、各所でのプログラムづくりの参考にするべきでしょう。

学生からのアンケート回答にあった「**職員によって指示が違ったため、どうしていいのか分からなかった**」は、どの事業所にも当てはまる課題だと思われます。学生の実習種別や活動内容について、担当者だけでなく、受入施設職員全体の共通理解を、今後もすすめていく必要があります。

今年度始めて受入担当になった職員からの「**事前にこのプロジェクトがあったので、ひとりで悩むことなく学生を受け入れることができた**」という意見からは、本プロジェクトを開催した意義を確認できたとともに、これから受入担当になる職員に対する指導者講習の必要を感じました。

【来年度の介護等体験受入に向けた決定事項】

- ①法人で共有できる『介護等体験プログラム』『介護等体験受入マニュアル』を作成
- ②学生個々に対し適切な指導できるよう、所ごとの同時期最大受入人数3人というガイドラインを作成
- ③来年度以降、新規に受入担当になった職員に対する指導者講習を実施

②介護福祉士実習受入態勢整備プロジェクト（7月4日、12月18日に実施）

年間を通じて受け入れをしているため、今年度の受け入れは今後まだ続きますが、特別養護老人ホーム上井草園、サンフレンズ訪問介護事業所からの報告と学生に対して実施したアンケート結果をもとに検討しました。

学生からのアンケート回答にあった「**もう少し多くのケースを見学したかった**」は、訪問介護事業所で3日間の実習をした学生からの意見。3日というのは、実習というよりは体験的な位置付けなのでしょう。このように学生が「もっと学びたい」と思った時、学校や事業所として今後どのような追加対応が可能なのか考える良い機会になりました。（例えば、デイサービス等では、実習前後にボランティア活動者として受け入れている（学生個人と契約している）事実があります。一方で、訪問介護事業所は、実習生はまだしもボランティア活動を受け入れることは難しいと思われます。）

「**利用者に直接触れることには、最初たいへんな恐怖心があった**」は、特別養護老人ホームでの実習生から。その続きには「**そんなときに思いやりのある指導をしていただいたので、とても励まされた**」と書いてありました。このように技術・知識未熟で、不安な気持ち一杯で実習に臨んでいる学生の気持ちがよくわかりました。

先生方からは「**ひとつの実習先で、いろんなタイプのサービスを見ることができると嬉しい**」という意見がありました。そういう点で、特別養護老人ホーム（従来型と個室型）、デイサービス（一般型と認知症対応型）、訪問介護事業所、居宅支援事業所、地域包括支援センターを運営しているサンフレンズは、実習施設としてのひとつの理想形だということがわかりました。今後は、特に認知症対応等で専門性を発揮している事業所が実習先として注目されそうだという情報もありました。

【来年度の介護福祉士実習受入に向けた決定事項】

- ①法人内の特別養護老人ホーム2か所で共有できる『介護福祉士実習受入マニュアル』を作成
- ②来年度以降、新規に受入担当になった職員に対する指導者講習を実施
- ③次期実習指導者の育成・資格取得者を増やすべく職場内喚起・法人に提言

介護者の会「なでしこの会」「ワイワイクラブ」のお知らせ

介護者の会は、家族を介護している同士で悩みを語りあったり、経験談からヒントを得たり、ホッと一息つきながら一緒にリフレッシュする場。相談ごとがあるとき、ふっと気の向いたとき、ちょっと時間ができたときだけの参加もよし、お友達をつれての参加も大歓迎です。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

なでしこの会 2月25日(火)、3月25日(火) 毎月第4火曜日開催 午後1時30分から3時00分
会場：サンフレンズ上井草内会議室（上井草 3-33-10/3396-0024）参加費：200円/1回あたり（お茶菓子代）

ワイワイクラブ 2月13日(木)、3月13日(木) 毎月第2木曜日開催 午後1時30分から3時30分
会場：和泉ふれあいの家3階会議室（和泉 4-40-31/3321-4808）参加費：200円/1回あたり（お茶菓子代）

ご家族が会に出席するために通所介護（デイサービス）を臨時利用できます。詳しくは、担当のケアマネジャーあるいは各会場にご相談ください。

連載 この人・この曲 ～第7回 柳館八十さん『荒城の月』～

今月のゲストは、永福ふれあいの家の大正琴クラブ「すみれ組」の創設メンバー。音楽が大好きな柳館（やなぎだて）ハナさんです。

柳館さんは昭和4年、秋田県鹿角郡花輪町（現・鹿角市）に7人兄妹の四女として生まれました。ご実家は「エビス屋」という飲食店。家にピアノがあり、家庭にはいつも歌が溢れていたそうです。中でもたった一人のお兄さん・松清（まつきよ）さんは、ピアノ、アコーディオン、三味線などを弾きこなすプロ並みの腕前で、ホテルの宴会場などから依頼を受ける地元で有名な演奏家だったそうです。柳館さんご自身もピアノやアコーディオンを習った経験があるとのことですから、柳館家の音楽好きは、きっとお父さんお母さんが作ってくださった環境の賜物なのだと思います。思い出の曲として、幼稚園で歌った『荒城の月』を挙げていただきました。最初に耳にしたときは、幼心に「なんと美しいメロディーだろう！」と感じたそうです。



『荒城の初日の出』。いつも前向きな柳館さんに朝日が降り注ぐ。

26歳の時に娘さんが誕生。ご主人が早く亡くなったため、娘さんを大学に入れるために上京し、荻窪で家政婦さんとして働き始めます。介護という言葉が珍しかった当時から、高齢者の方の家を訪れて食事づくりや食事の介助、ときには泊っての介護も…。10年程前まで現役で働いていらっしたそうです。女手一つで育てた娘さんも今や幼稚園の先生。今度は娘さんが子供たちに『荒城の月』を歌ってあげているのかもしれないね。

そんな音楽好きの柳館さん、大正琴クラブが始まると知った時は「ヤッタ！」という感じだったらしく、昨年12月のデビュー・コンサートに向けて猛練習していましたが、膝の手術のため前日まで入院。残念ながら観客席での応援となってしまいました。「次のコンサートこそ頑張る！」それでも前を向く柳館さん、素敵です♥

『荒城の月』土井晩翠作詩・瀧廉太郎作曲 この曲を You Tube で聴いてみよう→<http://www.youtube.com/>

- 一 春高樓の 花の宴 巡る盃 影さして 千代の松が枝 分け出でし 昔の光 今いづこ
- 二 秋陣營の 霜の色 鳴きゆく雁の 数見せて 植うる剣に 照り浴ひし 昔の光 今いづこ
- 三 今荒城の 夜半の月 変わらぬ光 誰がためぞ 垣に残るは ただ葛 松に歌ふは ただ嵐
- 四 天上影は 変はらねど 栄枯は移る 世の姿 映さんとてか 今も尚 ああ荒城の 夜半の月

明治34年、東京音楽学校（現・東京芸術大学）が、詩人・土井晩翠（どいばんすい）に旧制中学校唱歌の懸賞応募用の課題歌詩として依頼をしたもので、原題は『荒城月』。これに曲をつけて応募し入選したのが、当時同校の学生だった瀧廉太郎（たきれんたろう）。このときは無伴奏の歌曲でしたが、大正6年に山田耕筰（やまだこうさく）によって、ピアノ伴奏の追加、テンポを落とす、一部の旋律を変えるという編曲がなされました。この編曲は、日本で初めて国際的な名声をつかんだオペラ歌手・三浦環（みうらたまき）のためのもので、一番の歌詞でいうと「花の宴」の「え」の音だけを原曲より半音下げて（#をとって）います。欧州で歌う機会の多い三浦環が日本の作品として『荒城の月』を紹介する際に、そのほうが日本的な印象を強調できると考えたといわれています。現在、教科書に載り一般に歌われているものは、山田耕筰による編曲版。瀧廉太郎の原曲の旋律で歌われることは珍しく、最近では米良美一（めらよしかず）の録音が挙げられます。

土井晩翠は、明治4年、仙台県仙台北鍛冶町（現・宮城県仙台市青葉区）生まれ。東京帝国大学（現・東京大学）英文科卒。明治26年に雅号を「晩翠」としました。明治32年に刊行した第一詩集『天地有情』で島崎藤村（しまざきとうそん）と並び称され、「藤晩時代」が始まりました。『荒城の月』の作詩を依頼されたのは、この直後のこと。彼が詩を構想したのは、旧制二高時代に修学旅行で訪れた福島県会津若松市の鶴ヶ城と言われています。また、歌詩に出てくる「千代」は、仙台出身の彼が「仙台」を「千代」と書き、「ちよ」と読みを替えて、仙台城（青葉城）のことを暗に示していると言われています。

瀧廉太郎は、明治12年、東京府芝区南佐久間町（現・東京都港区西新橋）生まれ。父が地方官として日本各地を回ったため、5回も転校を繰り返しました。明治23年から27年までを大分県竹田市で過ごし、この地にあった岡城（城址）が、後年の作品『荒城の月』のモチーフになったと言われています。15歳で東京音楽学校に入学。作曲とピアノ演奏でめきめきと才能を伸ばしました。明治時代の前半には多くの外国曲の翻訳唱歌ができましたが、日本語訳詞を無理にはめこんだぎこちない歌が多く、純日本製の作品を望む声が高まっていました。その要望に最も早く応えた作曲家こそ彼だったのです。他に『花』『お正月』『箱根八里』等が彼の代表作品です。

『荒城の月』の作詩者・作曲者という間柄ながら、両者の間には東京音楽学校が介在したため、2人はたった一度だけしか逢っていません。それは土井晩翠が欧州遊学中の明治35年8月のこと。前年4月にドイツ・ライプツィヒ音楽院に留学した瀧廉太郎が肺結核を患ったため帰国することになり、ベルギーのアントワープから日本郵船の大型客船・若狭丸に乗りました。同船がイギリス・ロンドン郊外のティルベリー（テムズ川河口港）に寄港した際、土井晩翠が瀧廉太郎を見舞い、2人は最初で最後の対面をしたと言われます。

※ホームページ「ウィキペディア」から一部引用させていただきました。

出張公開音楽会『SONGS・みんなの声』のご用命は、☎3394-9833へ

地域施設・地域団体とのコラボレーション(協働)で、出張公開音楽会を随時開催しています。

古き良き時代の歌の数々...、歌のエピソードなどを語り合いながら、ギター、ピアノ、アコーディオン等の生伴奏で歌います。歌の好きな方ならどなたでもどうぞ。たくさん歌って、たくさん笑えるひとときです。

2月・3月は、戦後歌謡の大作曲家である中山八大、遠藤実を特集。「楽しい声楽」は声楽家・小岩井雅人さんをゲストに迎えての1時間。「ギターで歌おう」では、ギター・デュオで伴奏します。

※参加ご希望の方は、1週間程度前にそれぞれの会場にお申し込みください。



- 大宮ふれあいの家 (堀ノ内 1-16-38/5377-7025)
 - 2月3日(月) 13:45~「小岩井雅人さんの楽しい声楽」
 - 2月21日(金) 13:45~「夢であいましょう/中村八大特集」
 - 3月10日(月) 13:45~「北国の春/遠藤実特集」

※デイサービス利用者・見学者のみへの公開になります
- 和田ふれあいの家 (和田 3-52-4/3312-9556)
 - 2月4日(火) 13:30~「夢であいましょう/中村八大特集」
 - 3月12日(水) 13:30~「北国の春/遠藤実特集」
- ゆうゆう高円寺東館 (高円寺南 1-7-22/3315-1816)
 - 2月5日(水) 13:30~「新雪/灰田勝彦特集」
 - 3月5日(水) 13:30~「北国の春/遠藤実特集」
- 上井草ふれあいの家 (上井草 3-33-10/3394-9831)
 - 2月10日(月) 14:00~「夢であいましょう/中村八大特集」
 - 3月8日(土) 14:00~「北国の春/遠藤実特集」
- 和泉ふれあいの家 (和泉 4-40-31/3321-4808)
 - 2月12日(水) 11:15~「夢であいましょう/中村八大特集」
 - 2月18日(火) 11:15~「小岩井雅人さんの楽しい声楽」
 - 2月20日(木) 11:15~「出船/雪の歌特集」
 - 3月10日(月) 11:15~「北国の春/遠藤実特集」
 - 3月22日(土) 11:15~「春よこい/早春の歌特集」
- さくらサロン (和泉 4-9-5 杉本ビル 101/予約不要)
 - 2月12日(水) 13:00~「アコーディオンで歌おう冬の歌」
- サンフレンズ善福寺 (善福寺 3-27-11/5303-0756)
 - 2月13日(木) 14:00~「小岩井雅人さんの楽しい声楽」
- 上井草園 (上井草 3-33-10/3394-1094)
 - 2月14日(金) 15:00~「夢であいましょう/中村八大特集」
 - 2月27日(木) 15:00~「出船/雪の歌特集」
 - 3月6日(木) 15:00~「小岩井雅人さんの楽しい声楽」
 - 3月14日(金) 15:00~「北国の春/遠藤実特集」
 - 3月27日(木) 15:00~「春よこい/早春の歌特集」
- 方南ふれあいの家 (方南 1-52-14/5355-0611)
 - 2月15日(土) 13:30~「夢であいましょう/中村八大特集」
 - 3月22日(土) 13:30~「北国の春/遠藤実特集」
- 和泉みどりの里 (和泉 4-40-31 和泉ふれあいの家 3階/3321-4808)
 - 2月20日(木) 14:00~「新雪/灰田勝彦特集」
- 八成ふれあいの家 (井草 2-25-4/5311-3637)
 - 2月25日(火) 11:00~「夢であいましょう/中村八大特集」
 - 3月8日(土) 11:00~「北国の春/遠藤実特集」
- 上井草青葉会 (上井草 3-33-10/3394-9833)
 - 2月27日(木) 9:30~「夢であいましょう/中村八大特集」
- ふれあいサロン上井草 (上井草 2-35-2-205/5303-4246)
 - 2月28日(金) 12:00~「ギターで歌おう冬の歌③」
 - 3月28日(金) 12:00~「ギターで歌おう春の歌①」
- 永福ふれあいの家 (永福 2-14-20/3327-5811)
 - 2月28日(金) 13:30~「夢であいましょう/中村八大特集」
 - 3月4日(火) 13:30~「小岩井雅人さんの楽しい声楽」
 - 3月11日(火) 13:30~「北国の春/遠藤実特集」
- 和泉一たかさご会 (方南 1-27-8 方南区民集会所/3322-4225)
 - 3月3日(月) 14:00~「夢であいましょう/中村八大特集」

お問合せ：和泉一たかさご会会長・安野三郎 (5930-7252)
- 松ノ木ふれあいの家 (松ノ木 2-14-3/3318-2660)
 - 3月13日(木) 14:15~「小岩井雅人さんの楽しい声楽」
- 堀ノ内方南永福合同地域交流会 (和泉 3-8-18 永福和泉地域区民センター/5300-9411)
 - 3月20日(木) 14:00~「北国の春/遠藤実特集」

お問合せ：ケア24 堀ノ内 (5305-7328)
- 善福寺サロン (善福寺 3-27-11 サンフレンズ善福寺/5303-0756)
 - 3月21日(金) 14:00~「北国の春/遠藤実特集」

お問合せ：ケア24 善福寺 (5311-1024)

大正琴公開講座 2月『出船』/3月『おぼろ月夜』を弾こう

- ふれあいサロン上井草 (上井草 2-35-2-205/5303-4246)
 - 2月5日(水)、2月19日(水)、3月5日(水)、3月19日(水)
 - 各日とも 10:30~11:30
 - 以降も月2回(第1・3水曜日)に実施。参加費 200円/回
- ゆうゆう高円寺東館 (高円寺南 1-7-22/3315-1816)
 - 2月19日(水)、3月19日(水) 各日とも 13:30~15:00
 - 以降も月1回(第3水曜日)に実施。参加費 300円/回



- 和泉ふれあいの家 (和泉 4-40-31/3321-4808)
 - 2月7日(金)、2月26日(水)、3月7日(金)、3月26日(水)
 - 各日とも 13:30~15:30
 - 以降も月2回(水・金曜日/開催日は事前周知)に実施。
 - 参加費 300円/回